

第67回青少年読書感想文全国コンクール課題図書高等学校の部

◎課題図書の予約（回送）、貸出期間の延長はできません。

★『水を縫う』 寺地 はるな／著

(TRCマーク情報より)

男なのに刺繍が好きな弟。女なのにかわいいものが苦手な姉。愛情豊かな親になれなかった母…。世の中の普通や当たり前を問い直す、6人の家族の物語。『小説すばる』連載を書籍化。(913/テ)



★『兄の名は、ジェシカ』 ジョン・ポイン／著 原田 勝／訳

4歳年上のジェイソンは、サムの子の自慢の兄。ただどこか、少し様子が変わったみたいだ。一人の子どもがジェンダーや性的指向という問題にどう向き合っていくのかを、わかりやすく、誠実に、時にコミカルに描く。(933/ホ)



★『科学者になりたい君へ』 佐藤 勝彦／著

どうすれば科学者になれるのか? 「インフレーション理論」を提唱した宇宙物理学者・佐藤勝彦が、自身の科学者人生を紹介しつつ、「科学とはどういうものか」「優れた科学者になるためには何をしたらよいか」などを語る。(見 407)



●●●●● 西条市電子図書館のご案内 ●●●●●

西条市在住（通勤・通学等含む）の方は、電子図書館の利用を申し込むと、スマートフォン、タブレット端末や、パソコンから電子書籍をご利用いただけます。

貸出点数	3点まで	貸出期間	14日間
予約点数	3点まで		
予約本取置期間	7日間 ※通知されませんのでご自身で確認をお願いします。		
貸出延長	1回（延長した日から14日間）※予約者がいない場合		

※詳しくはカウンター、またはホームページ・電話で西条図書館（0897-56-2668）まで

東予・丹原・小松

読書マラソン2021

7/21（水）～9/29（水）開催！



YA だより

2021年7月号

もうすぐ梅雨もあけ、待望の夏休みです。
暑い夏には、涼しい部屋で読書もいいですね。

◎今月のYAコーナーの特集は、

「部活動（文化部編）」特集です。

先月の部活動特集に引き続き、今月は主に「文化部」を特集します。吹奏楽部・合唱部・将棋部・放送部や文化系同好会が題材の小説など、部活動に役立つ本を紹介します。

“YAコーナー”は児童書コーナー入って左側
“YA特集”は児童書コーナーの右側の棚です

発行 西条市立東予図書館
住所 西条市周布 427 番地
TEL 0898-65-4797
開館時間 10:00～18:00

部活動 特集

(文化部編)

学校生活の中でも大きな割合を占める「部活動」。今回は、「部活は運動部だけじゃない。文化部だって熱血だ!」ということで、主に「文化部」を特集します。部活動が題材の小説や、部活動に役立つ本を紹介します。

『タスキメシ』

(調理実習部)

額賀 濤/著



長距離選手として将来を期待されていた眞家早馬は、大けがのリハビリ中に、調理実習部の都と出会い、料理に没頭。早馬が戻るのを待つ仲間たちの気持ちを裏切り、競技からの引退を宣言する。そんな中、駅伝大会がスタートし…。 (913/又)

『屋上のウィンドノーツ』

(吹奏楽部)

額賀 濤/著



友達がひとりもない県立高校へ入学した、引っ込み思案の少女・給前志音は、ワケありの部長・日向寺大志に誘われ、吹奏楽部に入部する。やがて厳しい練習の日々が始まって…。爽やかな風を感じる熱血部活小説。 (913/又)

『くちびるに歌を』

(合唱部)

中田 永一/著



中学合唱部顧問の松山先生は産休に入るため、元神童の美しすぎる臨時教員・柏木に期限付きで指導を依頼。すると、柏木目当て男子が多数入部する。ほどなくして、練習に打ち込まない男子部員と女子部員の対立が激化して…。 (913/ナ)

『「ハッピーな部活」の作り方』

中澤 篤史/著 内田 良/著



生徒が本当に楽しめる部活とは? 長時間練習、勝利至上主義、理不尽な指導…。日々の活動から問題点をあぶり出し、未来にも続く部活のあり方を様々な改革例とともに提案する。Q&A、部活を考える時に役立つ本なども掲載。 (岩波ジュニア新書/375)

『春や春』

(俳句同好会)

森谷 明子/著



須崎茜は俳句好きの女子高生。俳句の趣味を理解してくれる初めての友人ができたことをきっかけに、「俳句甲子園」を目指し、俳句同好会設立を決意する。出場に必要な人数は5人だが…。『小説宝石』掲載をもとに書籍化。 (913/モ)

『群青ロードショー』

(映画同好会)

半田 畔/著



映画好きの女子高校生・朝宮陽は、趣味も性格もバラバラのミーコ、あかり、ナツと同好会に所属していた。3年生に進級し卒業を強く意識するようになった陽は、この4人でしか作れない映画を撮ろうと提案し…。 (携帯小説/B913/ハ)

『部活があぶない』

島沢 優子/著



週休0日、体罰・暴言、セクハラ、慢性のケガ…。今、社会問題となっている「ブラック部活」。一方で部活指導に時間を取られ、教師たちも悲鳴を上げている。その実態を徹底取材し対策を示す。 (講談社現代新書/375)